



音楽再生ソフトとファイルの種類

パソコンで音楽を聞きたいときは、そのファイルを開けば聞けますが、その再生ソフトはいろいろあります。以前にも言いましたが音楽ファイルを再生できるソフトには、「Windows Media Player」「Groove ミュージック」「iTunes」「Real Player」など数多くあり、それぞれに特徴があります。

今回はその再生ソフトの特徴と、音楽ファイルの種類についての説明です。

1. 音楽再生ソフトの種類と特徴

① Windows Media Player (無料)



このソフトは Windows の OS に標準で付属されている音楽再生ソフトです。

種々改良され、現在はバージョン 12 になっており、単に音楽だけでなく WAV、AVI、MPEG、MP4 といった動画ファイルも再生できる。

また、音楽データを CD から取り込んだり、逆に CD へ書き込んだりすることもできるソフトです。

② iTunes (無料)



このソフトは Mac コンピューターの音楽再生、管理ソフトとして誕生したのですが、今では Windows にも使うことができるようになりました。

WMP と同様 CD から取り込んだり、逆に CD へ書き込んだりすることもできるし、動画も Mpg4 に対応しています。

③ Real Player (基本プランは無料、機能付加で有料)



このソフトは realnetworks 社が開発した動画や音楽のダウンロード、再生、また CD や DVD に書き込んだりできるソフトです。編集してスマホやタブレットと接続してコピーすることもできます。

又、人に見られたくない動画ファイルや再生履歴を隠す事もできます (有料)

④ Groove ミュージック (無料)



このソフトは「Xbox Music」の更新ソフトで Windows10 に入っています。音楽の再生専用で動画の再生はできません。

以前の Windows Media Player との違いはほとんどありませんが、今後はインターネット上で管理できる音楽再生プレーヤーとして期待されている。

この他にもあるようですが、音楽再生ソフトとしては大差なく、①の Windows Media Player が無難でしょう。

2. 音楽、音声ファイルの種類と特徴

① MP3 (エムピースリー) (拡張子: .mp3)

このファイルは人間の聴き取りにくい部分のデータをカットすることによって、データを圧縮しています。最もポピュラーな音声データの規格です。データサイズは原音の約 10 分の 1 に圧縮されるので多くの曲数を入れることができます。音質は CD とほぼ同じ。

② WAV (ウエーブ) (拡張子: .wav)

圧縮されていないためデータサイズは大きい。

これも音質は CD とほぼ同じである。ジャケット写真や歌詞は付けられない。

③ AAC (エーエーシー) (拡張子: .aac、mp4、avi など)

MP3 の後継にあたるファイルで、MP3 より若干データサイズは大きいですが音質は良い。

④ FLAC (フラック) (拡張子: .flac)

日本では馴染みが薄いですが海外では音声ファイルの定番となっているらしい。データサイズは原音の約 2 分の 1 なのでファイル量は大きいですが音質優先の人にはよい。

このファイルは一度他のファイルに変換しても元に戻せる (可逆圧縮) というメリットもある。

【用語解説】

① ビットレート

音質の良し悪しの目安で、1 秒間にどれだけの情報量が入っているかを表している。単純にこの値 (kbps) が高いほど高音質ということになります。が、音質の良さは再生機器やリスニング環境でも大きく左右されます。通常、ヘッドフォンやミニコンポなどで聞く場合は 192kbps でよいでしょう。

② コンバーター

データや信号を変換するソフトで、例えばビデオから音声だけを取り出し MP3 音声に変換したり、YOUTUBE から録画した動画の音声だけを取り出したりするソフト。

③ データのエンコードとデコード

「エンコード」とは、データを一定の規則、目的に応じて符号化することで、圧縮とも言う。これに対し「デコード」は、エンコードした情報を元に戻すことをいう。

エンコードとデコードの方式に異なるものを用いると、元に戻らなくなり意味不明の文字「文字化け」になる。